

茨城の生産地、茨城の環境を守るため

過去に宣言した方も！

## 「GMO・ゲノム編集フリーゾーンサポーター宣言」

### に参加しよう！

生活クラブ茨城のサポーター宣言をリニューアル…毎年更新するスタイルに変更します。

過去に宣言した方も改めて今回の“サポーター宣言”をお願いします。



#### ☆GMO・ゲノム編集フリーゾーン宣言とは…

GMOフリーゾーン運動は、1999年にイタリアで始まり、日本でも遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーンの呼びかけで2005年から始まりました。農家に「遺伝子組み換え作物は食べたくない」という消費者の声を届け、みずからの耕作地で「遺伝子組み換え作物は作らない」と宣言してもらう活動として広がってきました。

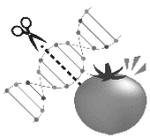
現在はゲノム編集技術も含めて、フリーゾーン宣言する運動となっています。

#### ☆サポーター宣言とは…

2013年度からは新たに「サポーター登録」の呼びかけも行い、GMOフリーゾーン宣言をする農家を支える消費者をサポーターとして登録する取組みも開始し、サポーターの数も増えてきています。

毎年開催される「GMOフリーゾーン全国交流集会」で、GMOフリーゾーンの面積とサポーターの数を報告し、その年の活動の成果を共有しています。

#### 今、ゲノム編集はどうなっているの？



日本国内で市場流通が可能となったゲノム編集食品は、GABAトマト、可食部増量マダイ（通称マッスル真鯛）、

高成長トラフグ（22世紀フグとして京都府宮津氏でふるさと納税返礼品に採用）、



ワキシートウモロコシ、高GABAトマト（中玉トマト）となりました。なお、現時



点ではすぐに市場流通することはないかもしれませんが、安心は出来ません。

私たちは、7～8月に「たねとひと@フォーラム」の呼びかけによる、遺伝子組み換えの表示・市場調査を組合員へ呼びかけ、つくばではグループでスーパーマーケットに行ったり、東海の方では、議員にも声掛けして、ミニ学習会を開き調査活動に協力しました。

#### 遺伝子組み換えの表示が消える？！

2023年4月1日施行された遺伝子組み換えの表示基準の改定により、組換えDNAが検出できない場合に限り、任意表示の「遺伝子組み換えでない」が表示できるという厳格化が行われました。この改定により、これまで食品表示ラベルに「遺伝子組み換えでない」と表示していた多くの食品から「遺伝子組み換え」や「でない」という文字が消える見通しです。市民の関心が薄れることが懸念されます。

宣言用紙を生活クラブ茨城各センターへ提出してください。

発行：単協環境委員会

# GMO・ゲノム編集フリーゾーンサポーター宣言

遺伝子組み換え（GM）作物やGM食品・ゲノム編集などの遺伝子操作食品に反対し、遺伝子操作作物の栽培や遺伝子操作食品の生産・販売を拒否する「GMO・ゲノム編集フリーゾーン宣言者」を支援する「GMO・ゲノム編集フリーゾーンサポーター」になることを宣言します。

（■はご記入必須事項です）

■宣言者名： \_\_\_\_\_

■宣言年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

■住所（都道府縣市町村名程度）： 茨城県 \_\_\_\_\_ 市 町 村

メッセージ： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

（ご自宅の庭やプランターなどでGM作物をつくらない「GMOフリーゾーン宣言」もしていただけます。その際は、上記メッセージ欄にその旨をご記入ください。ただし、これらは農地ではないため、GMOフリーゾーン登録面積には集計されません。あらかじめご了承ください）

上記の個人情報は GMO・ゲノム編集フリーゾーンサポーター数集計以外の目的では使用しません。

## <取扱い団体>

生活クラブ生活協同組合  
〒300-1231  
茨城県牛久市猪子町 992-676  
TEL：029（874）8510  
FAX：029（874）3651

## <呼びかけ・集約団体>

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン  
〒169-005  
東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207  
TEL：03（5155）4756  
FAX：03（5155）4767  
Email：office@gmo-iranai.org